

美の里づくり審査会特別賞

りょうだに
島根県 浜田市 両谷連合自治会

三隅の「むろだに」は、今年も元気です

室谷の棚田は、現在は約1,000枚に減ってはいるものの、昭和51年には我が国最多の約4,500枚の棚田が確認されたことで知られている。この地の人々は情が厚く、地域の結びつきが強いため、人々の地域興しに対する意識は高く、両谷連合自治会を中心に日々室谷の活性化へ向けた取り組みがなされている。

棚田は米作などの生産の場であるだけでなく、独自の景観にはこれまでの数百年の歴史と文化が蓄積されており、この地に住む人々の誇りとなっている。

前会長の「一番大切なのは、両谷の棚田が、遠くからでも見に来てくださるほどの財産であることを地元の人に知ってほしいことです。住民が誇りを持つことが何よりの村づくりだと思います。」との言葉にすべてが凝縮されている。

そして、棚田を通じて、都市住民に室谷の棚田のすばらしさを直に目で見て肌で感じてもらうとともに、地元住民は、交流を通じて新たな発見をすることに意義がある。

室谷は、情報の発信と受信の場、人と人との交流の場として、棚田を保全・活用し、農業振興と集落活性化につなげ、住んで魅力があり、誇りの持てる農村づくりに力を注いでいる。



田植え前の棚田風景



棚田まつりでの「田ばやし」